

川西市こども・若者ステーション

子育てをひとりでがんばらないで。

たくさんの支援があることを知ってほしい



妊娠や出産は誰にとっても大きな出来事。体へのダメージはもちろん、出産後の環境の変化による心の不調なども起こりがちだ。川西市には、そんな親御さんたちにとって、とても頼りになる施設がある。キセラ川西プラザにある「こども・若者ステーション」だ。妊娠中からお子さんが就学前までの期間の人を対象に、相談業務や一時預かり保育、プレイルーム利用などのサービスを提供している。利用者支援専門員の森下日出子さんに「こども・若者ステーション」の業務内容と川西市での子育てについて伺った。

川西市には文化と福祉がテーマの施設がある



「こども・若者ステーション」が入っている「キセラ川西プラザ」は文化施設と福祉・保健・公民館機能をあわせ持つ複合施設だ。福祉棟には、社会福祉協議会や障がい者向けの共同作業所、兵庫県川西こども家庭センターなども入っており、支援の必要に応じて横の連携も可能だ。「こども・若者ステーション」は、キセラ川西プラザ内の2階と3階の2部署で構成されている。今回取材に伺った3階のこども支援課では、未就学児を対象とした事業、2階のこども若者相談センターでは教育相談やニート・引きこもり相談など、子どもから39歳までの若者を対象とした相談支援事業を行っている。



広いプレイルームは、就学前のお子さんと保護者なら誰でも無料で利用できる。ここには、子育て支援相談員が常駐しており、子どもを遊ばせながら相談もできる。



一時預かりルームは、理由を問わず、一時的に子育てができない時に利用できる。1歳から就学前までという年齢制限があるが、保護者の体調不良や用事、リフレッシュなどに使える。

そのほか、ロビーでは保護者の悩みや不安に対する相談業務や、「産後ケア事業」「産後ヘルパー事業」などの申請手続きも随時行われている。予約は要らない。どんな些細なことでも、子育てに直接関係のないことでも、基本的にはどんな悩みも聞く。

「よろず相談みたいなもの。気軽に声をかけてほしい」と、職員の皆さんは話す。



親だけに任せず、みんなで一人の人間を育てる

「一人の人間を育てるのは、とても大変な作業なのです。お母さんがひとりで背負うのはとても大変です。支援の制度や施設があることを知って、他の人の手も借りることで、余裕をもって、できれば喜びを感じながら子育てしてほしいのです」

森下さんは、そう話す。

こちらでは、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」も行っている。産後のお母さんの不安を取り除く目的で、生後4ヶ月までの赤ちゃんのいる家庭を全戸訪問するのだ。保健センターが行う新生児訪問とは別の事業で、親子に会えるまで何度でも足を運び、直接お会いして悩みや疑問がないか聞く。これにより乳児のいる全ての家庭の様子がわかるし「こども・若者ステーション」という施設があることを知っていただければ、後の施設利用にもつながる。



とにかく明るい、職員のみなさん

お話を聞くと、職員の方たちはかなりの激務である。そもそも人の相談を受ける、悩みを聞くということ自体、神経を使うストレスフルな仕事だ。看護師や保健師、保育士、幼稚園教諭など様々な資格を持つ職員の方たちだが、それでも、16人でここを運営するのは並大抵ではないと想像する。

ところが、そんな激務を感じさせるところか、ここ「こども・若者ステーション」には、入った途端感じる不思議な明るさがある。「こんにちは」「奥へどうぞ」とすぐに声がかかり、とても歓迎されている感じが伝わる。不安をもってここを訪れる人にとって、

どんなにホッとすることだろう。オープンで明るい雰囲気を作れている秘訣をお聞きした。

「相談された内容を、職員みんなで意見を出しあい、共有し、どんな方法が、相談された方にとってよりよい方法になるか話しあっています。普段からも相談しあうことで職員間の連携もでき、気持ちも明るくなって仕事がうまくいくのです」

それこそ保護者のよろずの相談を受けとめられるのだな、と納得である。

子どもの支援の充実に取り組む川西市

「キセラ川西プラザ」のような福祉に重点をおいた施設を作ったり、国からの「地域子育て支援拠点事業」の方針が確認されるとすぐに、独自の施策作りに動いたりする迅速さを見ると、川西市は、子育てしやすいまちを目指しているという印象を受ける。

移住先で子育てをお考えの皆さん、川西市を移住先候補の一つとしてご検討されてはいかがだろう。



キャプション

<220128_053>

「こども・若者ステーション」利用者支援専門員の森下日出子さん

<220128_047>

就学前のお子さんと保護者なら誰でも無料で利用できる広いプレイルーム

<220128_069>

プレイルームには支援員が常駐しており、相談もできる

<220128_075>

ロビーでは随時相談業務が行われている

<220128_050>

赤ちゃんのいる家庭の全戸訪問により「こども・若者ステーション」という施設があることを知ってもらいたい

<220128_082>

文化施設と福祉・保健・公民館機能をあわせ持つ複合施設「キセラ川西プラザ」